

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種110社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を四半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2021年1月～2月期の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】2021年1月～2月

【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、110社にアンケート調査を実施した。

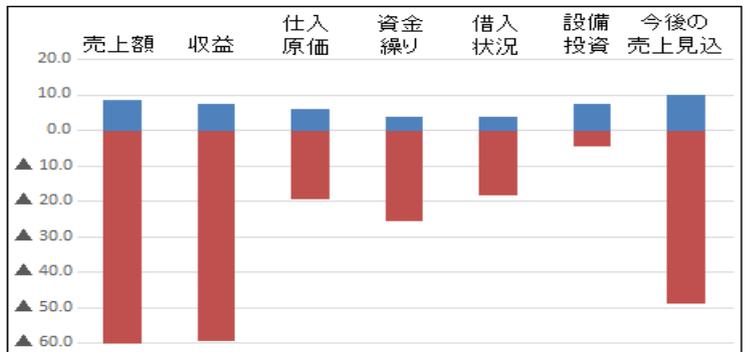
(回答企業数:80社、回答率:72.7%)

※DI値の算出方法:①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)／全体数×100-(④+⑤)／全体数×100でDI値を算出する。

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

全 体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	3	8	9	24	36	減少
収益	増加	2	8	10	25	35	減少
仕入原価	低下	3	4	43	29	1	上昇
資金繰り	好転	0	6	41	25	8	悪化
借入状況	減少	1	4	52	17	6	増加
設備投資	増加	1	10	63	5	1	減少
今後の売上見込	増加	1	14	15	22	28	減少

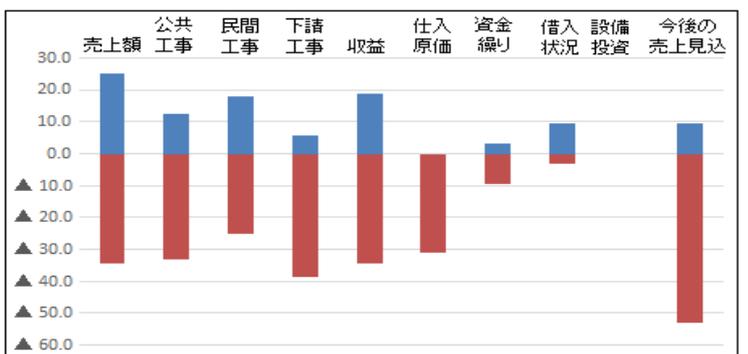


2021年1月～2月にかけてのDI値は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、売上額、収益、資金繰り、今後の売上見込の項目で全ての業種において前年同期比でマイナスであった。

また、前回(10月～12月)と比較し、仕入原価は0.9ポイント、借入状況は3.9ポイント改善されたものの、収益は▲7.8ポイント、資金繰りは▲2.5ポイント、設備投資は▲11.4ポイント悪化し、特に緊急事態宣言に伴う時短営業(飲食店)や休業(土産物店)の影響もあり、売上額は▲13.7ポイントと大幅に悪化している。

今後の売上見込については、減少(やや減少、かなり減少)と返答された事業所は50社(62.5%)もあり、先行き不透明な新型コロナウイルス感染症の影響で深刻な状況となっている。

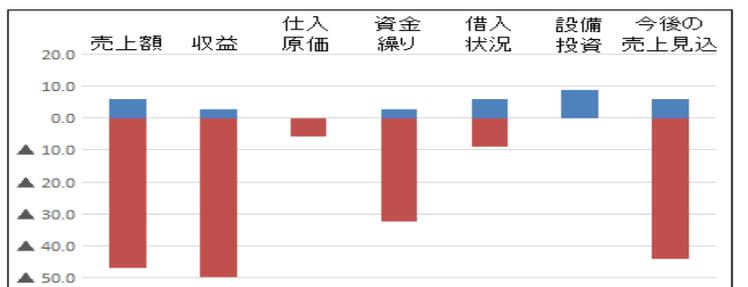
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	2	4	1	7	2	減少
公共工事(元請)	増加	1	1	4	4	2	減少
民間工事(元請)	増加	1	3	4	5	1	減少
下請け工事	増加	0	1	3	3	2	減少
収益	増加	1	4	2	7	2	減少
仕入原価	低下	0	0	7	8	1	上昇
資金繰り	好転	0	1	12	3	0	悪化
借入状況	減少	1	1	13	1	0	増加
設備投資	増加	0	0	16	0	0	減少
今後の売上見込	増加	0	3	1	7	5	減少



※公共工事なし4件、民間工事なし2件、下請け工事なし7件。

建設業のDI値は、前回(10月～12月)と比較し、下請け工事が▲6.6ポイント悪化しているものの公共工事が25.6ポイント、民間工事が14.0ポイント改善され、売上額(全体)でも19.2ポイント改善しているが、仕入原価が▲12.3ポイント悪化している。

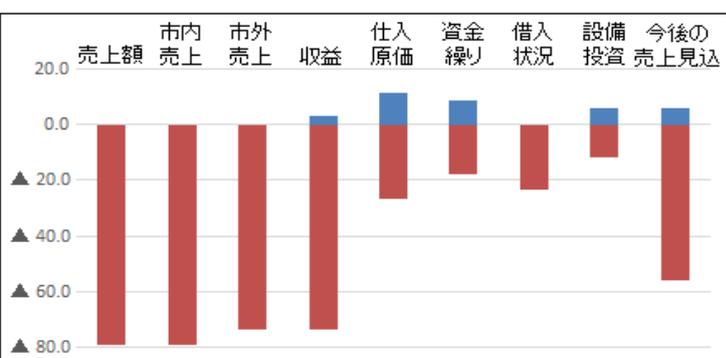
小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	2	4	6	5	減少
収益	増加	0	1	4	7	5	減少
仕入原価	低下	0	0	15	2	0	上昇
資金繰り	好転	0	1	8	5	3	悪化
借入状況	減少	0	2	12	3	0	増加
設備投資	増加	0	3	14	0	0	減少
今後の売上見込	増加	0	2	6	3	6	減少



小売業のDI値は、前回(10月～12月)と比較し、売上額▲9.6ポイント、収益▲10.3ポイント、仕入原価▲8.5ポイント悪化し、特に資金繰りが▲18.9ポイントと大幅に悪化しているが、今後の売上見込は6.5ポイント改善されている。

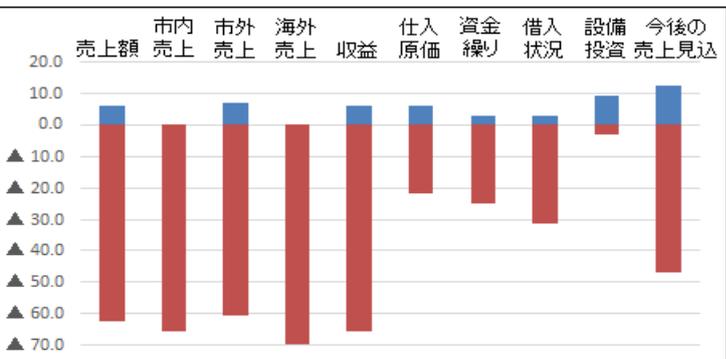
※最近の売れ筋傾向等: 空調機器、風呂暖房機器、惣菜、弁当、舞鶴・京都・豊岡からのお客様が少しづつ増加。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	0	1	5	11	減少
市内売上	増加	0	0	2	3	12	減少
市外売上	増加	0	0	2	5	10	減少
収益	増加	0	1	1	5	10	減少
仕入原価	低下	1	2	5	9	0	上昇
資金繰り	好転	0	3	9	4	1	悪化
借入状況	減少	0	0	11	4	2	増加
設備投資	増加	0	2	12	2	1	減少
今後の売上見込	増加	0	2	3	5	7	減少



卸売業のDI値は、前回(10月～12月)と比較し、市内売上▲16.9ポイント、市外売上▲39.1ポイント悪化し、売上額(全体)も▲26.3ポイント悪化している。また、仕入原価▲17.8ポイント、収益▲14.3ポイントと大幅に悪化している。

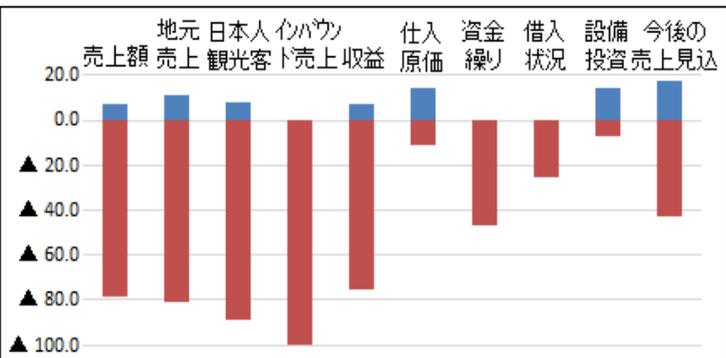
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	2	2	4	8	減少
市内売上	増加	0	0	3	5	8	減少
市外売上	増加	0	2	2	3	7	減少
海外売上	増加	0	0	1	1	3	減少
収益	増加	0	2	2	3	9	減少
仕入原価	低下	1	0	8	7	0	上昇
資金繰り	好転	0	1	8	6	1	悪化
借入状況	減少	0	1	7	6	2	増加
設備投資	増加	1	1	13	1	0	減少
今後の売上見込	増加	0	4	2	5	5	減少



※市外売上なし2件、海外売上なし11件。

製造業のDI値は、前回(10月～12月)と比較し、市内売上▲32.3ポイント、市外売上▲24.2ポイントと売上額(全体)で▲25.7ポイントと大幅に悪化し、収益も▲17.7ポイント悪化している。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	1	0	1	2	10	減少
地元売上	増加	1	1	0	1	10	減少
日本人観光客売上	増加	1	0	0	1	11	減少
インバウンド売上	増加	0	0	0	0	1	減少
収益	増加	1	0	1	3	9	減少
仕入原価	低下	1	2	8	3	0	上昇
資金繰り	好転	0	0	4	7	3	悪化
借入状況	減少	0	0	9	3	2	増加
設備投資	増加	0	4	8	2	0	減少
今後の売上見込	増加	1	3	3	2	5	減少



※地元売上なし1件、日本人観光客売上なし1件、インバウンド売上なし13件。

観光サービス業のDI値は、緊急事態宣言の影響もあり、前回(10月～12月)と比較し、売上額(全体)で▲24.0ポイントと大幅に悪化している。しかしながら、今後の売上見込はワクチン接種が開始された期待感もあり、61.8ポイント改善されている。

問2 現在、直面している経営上の問題点(コロナウイルス感染症含む)についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	(回答割合)
①売上減少	9	13	12	12	13	59	73.8%
②資金繰り悪化		4	2	4	7	17	21.3%
③雇用問題	8	2	2	2	4	18	22.5%
④仕入価格上昇	4	1	3	3		11	13.8%
⑤店舗等の休業			4		6	10	12.5%
⑥取引先の休業や廃業		4	6	1	3	14	17.5%
⑦製品等の配送・納期の遅れ	1	3	1		1	6	7.5%
⑧原材料・商品仕入の遅れ	2	1		1	2	6	7.5%
⑨その他	2	2				4	5.0%

※その他: 【建設業】収益確保。民間需要の低下。【小売業】客数の減少。顧客の高齢化。

問3 今後、懸念されること(コロナウイルス感染症含む)について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	(回答割合)
①売上減少	12	11	12	13	12	60	75.0%
②資金繰り悪化		5	4	3	7	19	23.8%
③雇用問題	7	2	2	4	4	19	23.8%
④仕入価格上昇	4	2	4	3	1	14	17.5%
⑤店舗等の休業		1	4		6	11	13.8%
⑥取引先の休業や廃業		2	7	4	1	14	17.5%
⑦製品等の配送・納期の遅れ	1	1		1		3	3.8%
⑧原材料・商品仕入の遅れ	2			1	2	5	6.3%
⑨その他	2	2	1	1		6	7.5%

※その他: 【建設業】収益確保。市場の先行き不安。民間需要の低下。【小売業】仕入減少による運賃増加。顧客の高齢化。

【卸売業】景気の悪化。沈滞ムード。【製造業】催事販売の中止。

◆ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。